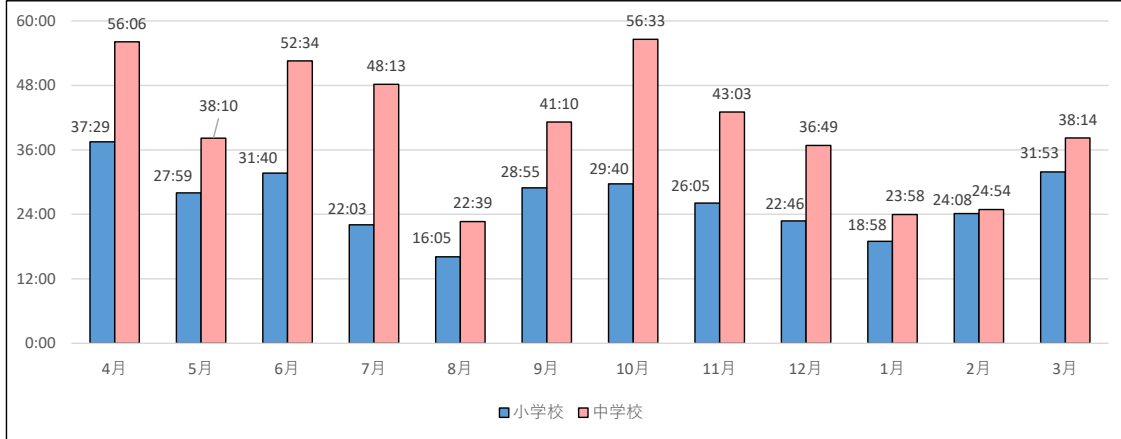


令和3年度 根室市立学校の職員に係る時間外在校等時間(超過時間)の状況について

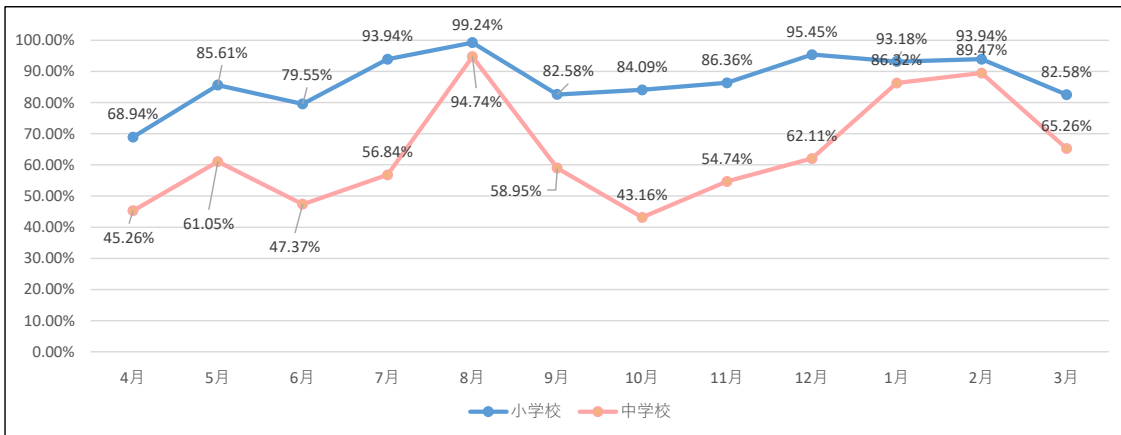
- ◆算出対象期間：令和3年4月～令和4年3月
- ◆算出対象校：市立学校 13校〔小学校:7校、中学校:5校、義務教育学校:1校(前期課程を小学校、後期課程を中学校に含む)〕
- ◆算出対象職員：市費職員以外の学校職員〔校長、教頭、主幹教諭、教諭、栄養教諭、養護教諭、事務職員〕

【目標値】※「学校における働き方改革のための業務改善計画(第2期)」において設定
教育職員の在校等時間から所定の勤務時間を減じた「時間外在校等時間」を
1か月で45時間以内、1年間で360時間以内とします。

1. 月別の時間外在校等時間の推移 (1) 学校職員の時間外在校等時間(一人当たりの平均値)



(2) 時間外在校等時間が月45時間以内の学校職員の割合



2. 年間の時間外在校等時間の状況

学校種	教職員数	うち年間360時間以内の職員	職員平均在校等時間	年間360時間を超過する職員
小学校	132名	81名 (61.36%)	317:49 h	51名 (38.64%)
中学校	95名	36名 (37.89%)	482:29 h	59名 (62.11%)

※職員数には、育休等により勤務のない者は含まない。

3. 調査結果の考察と今後の取組について

- 「学校職員の時間外在校等時間(一人当たりの平均値)」について、小学校では年間を通じて、目標とする月45時間以内となっているところ、中学校では4、6、7、10月が45時間を上回っており、このことは部活動の時間によるものと考えられる。
- 「時間外在校等時間が月45時間以内の学校職員の割合」について、4、3月は年度初め年度末の業務、10月は学習発表会、文化祭など行事の準備等で在校等時間が長くなり、8、12、1月は長期休業及び学校閉庁日により短くなっている。
- 「年間の時間外在校等時間」については、年間360時間以内を目標としているところ、目標値以内の学校職員の割合は、小学生では60%強、中学校では40%弱となっている。
- 今後においても「学校における働き方改革のための業務改善計画(第2期)」に基づき、各般の取組を推進するほか、特に時間外在校等時間の長い教職員の把握を行い、業務の平準化やCSの活用等、改善策の検討を続ける。